

県民の森

花ごよみ 9月号

～今月はこんな花が見られます～

発行:茨城県植物園管理事務所



北アメリカ原産の1年生の帰化植物。茎は高さ1mほど。花はヌスビトハギよりやや大きい。果実は扁平で3～6節に浅くびれる。
〈マメ科〉

アレチヌスビトハギ



高さ0.6～1.2mの多年草。名は、果実の形をしのび足で歩く盗人の足形に見立てたというが、異説もある。果実は2節に深くびれる。
〈マメ科〉

ヌスビトハギ



秋の七草のひとつ。山野でふつうに見られる大形つる性の半低木(基部が木質化する)。根には多量のデンプンを含んでおり、葛粉(くずこ)とれる。
〈マメ科〉

クズ



山野の林内に生える高さ30～60cmの多年草。花被片には紅紫色の斑点があり、平開するが反り返らない。
〈ユリ科〉

ヤマジノホトトギス



モデルコース:ゆつくり歩いて約120分

トイレ



高さ0.8～1.5mの多年草。暗紫色まれに淡緑白色の花をつける。果実はカレーの香りがする。
〈セリ科〉

ナadeshiko

ゲンノショウコ



高さ30～60cmの多年草。東日本には白い花、西日本には紅紫色の花が多い。別名はミコシグサ。

ギンリョウソウモド



山地に生える腐生植物。全体に白色で高さ10～30cm。春にみられるギンリョウソウに似ているが、こちらは秋に見られることから別名アキノギンリョウソウとよばれる。
〈タヌキ科〉



ミゾソバ

別名:ウシノヒタイ
別名は葉の形が牛の顔(額)を思わせることによる。やや湿ったところに群生する高さ0.3～1mの1年草。花は枝先に10数個集まってつく。
〈タヌキ科〉



ヤマハギ

高さ1～2m。日本の山野にふつうにみられるハギ。秋に黄葉秋に黄葉する。
〈マメ科〉



ツルボ

花茎は高さ20～40cmになる。別名は参内傘(サンダイガサ)。公家が参内するとき従者がさしかけた長い柄の傘をたたんだ形と花序が似ていることによる。
〈クサスギカズラ科〉

